

教育科学研究会（教科研）連続フォーラム：福島開催

福島の地で、地域と学校と子どもを考える

原発災害に向き合って

2014年2月23日(日) 午後1時～5時

会場：福島大学人間発達文化学類棟2階 大会議室



教科研講座の第4巻『地域・労働・貧困と教育』、第5巻『3・11と教育改革』（かもがわ出版）が、2013年暮れに、同時刊行されました。原発災害と教育を扱う重要論考が複数それぞれ所収されております。

これら論考を検討し、福島の教育の今後を考えたいと思っております。お読みいただければ、幸いに存じます。

●プログラム ●

司会 佐藤広美（東京家政学院大学、教科研副委員長）

- (1) あいさつ 佐貫 浩（法政大学、教科研委員長）
- (2) 斎藤美智子氏（さくら保育園園長） 放射能災害から子どもを守る
- (3) 土屋明広氏（岩手大学） 教育行政学の立場から、原発災害と教育を考える
- (4) 土屋直人氏（岩手大学） 教育実践学の立場から、原発災害と教育を考える
- (5) 白木次男氏（福島県公立小学校） 「あの日からのおくりもの」、その後
- (6) 杉内清吉氏（福島県立高等学校） 高校生の福島への思い、将来の夢
- (7) 福島大学の学生さん 「復興」の諸活動を通して学んだこと
- (8) 参加者による感想と意見交流
- (9) まとめ 佐藤修司氏（秋田大学）
- (10) 終わりの言葉 谷 雅泰氏（福島大学）・佐藤 隆（都留文科大学、教科研副委員長）

● お問い合わせ ●

教育科学研究会事務所【火・金の午後】

162-0818 東京都新宿区築地町19 小野ビル2階

電話 fax 03-3235-0622 e-mail:kyoukaken@nifty.com

どなたでも参加できます。参加費は無料です。

お誘いあわせの上、お越しいただけますなら

ば、幸いに存じます。